

事業者向

児童発達支援自己評価表

記入年月日: 令和 4年 7月

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	☐	☐	定期的に室内の配置を変更している
	2 職員の配置数は適切であるか	☐	☐	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	☐	☐	静と動の空間を分けて遊べる環境を整えている。また、段差をなくしたり、相談室として1室を設けたりしている
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	☐	☐	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	☐	☐	目標設定をおこなっているが、全職員への周知が難しい。現在、定期的にミーティングを行い広く職員が参画できるように取り組んでいる
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	☐	☐	保護者の思いに寄り添った親身な対応を行っていると感じる
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	☐	☐	8月で開所から1年経つため、今年から実施
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	☐	☐	昨年開所したばかりのため、今後実施予定
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	☐	☐	今年度より、毎月非常勤を交えて園内研修を行っている
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	☐	☐	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	☐	☐	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	☐	☐	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	☐	☐	支援計画を基に定期的にミーティングを行っている
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	☐	☐	職種や常勤、非常勤問わず立案できるチームを作れるように研修を行っている。また、会議にて定期的に子どもの様子を話し合い、立案へ繋げている。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	☐	☐	週の活動を決め、固定化されないようにしている
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	☐	☐	
	17 児童発達支援計画に基づき、支援を実施しているか	☐	☐	
	18 児童発達支援計画に記載した目標が達成できているか	☐	☐	
	19 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	☐	☐	職員の勤務時間が異なり毎日とは出来ていないが、週ごとに担当や支援内容について打ち合わせている

関係機関や保護者との連携	20	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	勤務がすれ違いであることも多く振り返りを共有することが難しいが、職員の連絡ノートを作成し改善を図っている
	21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	
	22	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	
	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	
	24	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	相談支援専門員と連絡を取り合い、利用児の様子について共有しあっている
	25	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	必要に応じて利用児の往診医や訪問看護師等と連絡を取り合っている
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	
	27	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	隣接する園と個別支援計画や保育目標などを共有しあい、連携している
	28	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	開所してから移行支援を行う年齢の子がまだいないが、今後実施予定
	29	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	どの職員も研修に参加出来るようにしていく
保護者への説明責任等	30	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	隣接する園と活動する機会を多く設けている
	31	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	今後必要に応じて参加していく予定
	32	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	送迎時に自宅での様子をお伺いしながら、教室での子どもの様子もお伝えし、現在の子どもの様子について話している
	33	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	ペアレント・トレーニングとしては実施していないが、送迎時に話す時間を作ったり、希望があるご家庭には別途相談の時間を設けたり、お子さんの反応の良かった関わり方を伝える等家族支援を行っている
	34	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	
	35	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	
	36	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	
	37	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	
	38	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	

非常時等の対応	39	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	会報ではないが、適宜SNSを用いて発信している
	40	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	
	41	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	
	42	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	
	43	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	個別のマニュアル等を策定し、定期的に訓練を行っている
	44	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	隣接している園と共に毎月訓練を実施
	45	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	
	46	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	
	47	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	
	48	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	今年度中に実施予定
	49	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	現在身体拘束している利用児はいない為、記載していない。また、身体拘束を検討、決定する場合はミーティングにて複数の職員で行う。保護者へも同意を得て、支援計画に記載していく

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

保護者等向

児童発達支援評価表

記入年月日:令和4年7月

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4				とても広いとは言えないが、随所に工夫がありその中でも楽しそう
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	4				十分看護師さんや先生もいて、どの先生も子どもに関わってくださっているようで安心して預けられる
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※ⅰになっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4				外に行けなくても園内で楽しく過ごせるようハンデのある子でも楽しめるよう工夫がたくさんあり楽しそう
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4				
	5 事業所の支援の質は適正であるか	4				心から感謝の気持ちでいっぱい。子どもの様子を細かく見てくれたり、他の子と一緒にいろんなことに挑戦してくださり、子どもにも変化が見られ親としては本当に嬉しい。生活にマンネリ化することなくどんどん新しいことを取り入れてくださっているのも楽しそう
適切な 支援の提供	6 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※ⅱが作成されているか	4				具体的にプログラムや遊びに取り入れて細かく報告もしてくれるので助かっている。また家でも取り入れたり他の事業所にも伝えやすい
	7 児童発達支援計画に基づき、支援が実施されているか	4				
	8 児童発達支援計画に記載された目標が達成されているか	3	1			子どものペースもあるので難しい部分もあるがマイペースに少しずつ進んでいるように感じる
	9 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4				
	10 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4				
	11 活動プログラム※ⅲが園定化しないよう工夫されているか	3	1			毎回楽しそう
	12 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4				すっごく沢山あって理想の関係があるようで感謝もしきれないぐらい感謝している
	13 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4				
	14 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	4				
	15 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※ⅳ等)が行われているか	1			3	どれのことを言うのかわからない

保護者への説明等	16	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	4				園生活を見学できるイベントがあると嬉しい。子どもが他の子と触れ合ったり遊んでいるところを見たい
	17	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3		1		
	19	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3			1	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3			1	
	21	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4				
	22	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	4				
非常時等の対応	23	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	3			1	
	24	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4				
満足度	25	子どもは通所を楽しみにしているか	4				「保育園いきたい!？」と聞くと手を上げる事も多い
	26	事業所の支援に満足しているか	4				